

【1年2組 道徳研究授業】1月16日（月）

～よりよい社会をめざして～

1月16日（月）の4校時に、1年2組で河原先生が、道徳の研究授業を行いました。本校では、年間を通して、学級担任以外の先生が道徳の授業を行うこととしています。

本日の授業は「だれもが気持ちよく過ごせる社会を目指して」と題して、「アメリカの街中と比べて、日本にはゴミ箱が少ないのもっと増やした方がよい」という新聞投書を用いて考えを深めました。

「自分のゴミは持ち帰るべきだ」「ゴミは出さないようにするべきだ」、「リサイクルを考えた行動をしなければならない」「外国と日本とでは文化が違うから外国の人に日本の規則を教えることが大切だ」「自分たちがゴミを捨てる姿勢が大切だ」などの意見が出ていました。

世の中では、正しいと思うことを主張してもなかなか浸透しなかったり、周りの迷惑を考えなかったり、自分勝手な考えで行動したりする現実があります。たばこのポイ捨てなどをすると罰金刑の国もあります。法律で行動を制限しなければならない国民性なのか、日本人のように空気を読むことによって行動を制限することができる国民性なのか、国民性だけの問題なのか、コロナ禍を経験している私たちにとって、いろいろな方面から考えさせられる題材でした。

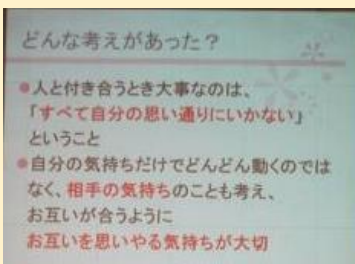
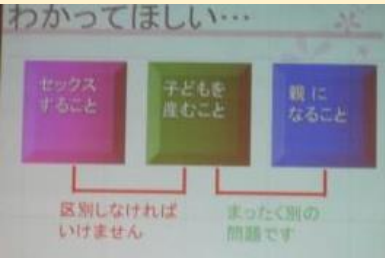
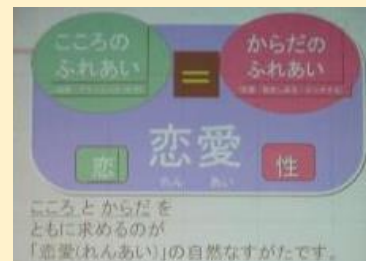
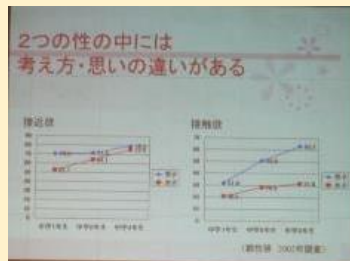
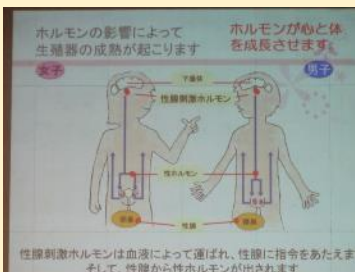
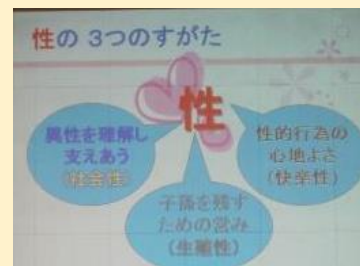
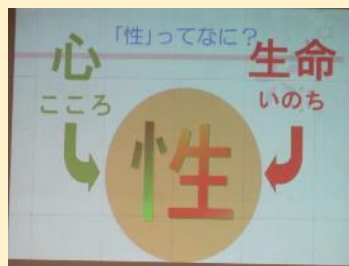
「ちょっとぐらいなら」「自分だけなら」「見つからなければ」「他人に迷惑をかけなければ」「そんなつもりではなかった」など、様々な理由をつけながら、自分たちは行動をしています。正しいと思われることも一方では窮屈に感じたり、ルールを守らなかったために不幸なことが起きたりすることもあります。

これからの行動を考えるのにとっても面白い授業でした。



【1年生 性教育セミナー】1月17日（火）

17日（火）に1年生を対象に、性教育セミナーを開催しました。講師に長崎県看護協会から助産師の吉田美穂子先生をお迎えしてお話を聞きました。2次性徴については、保健体育の授業で学んでいますが、改めて、生命のつながりという視点や自他の心身の変化を前向きに受け止めることを学びました。後半には、妊婦ジャケットを着けて、妊婦体験をしたり、胎児人形を抱っこしたりする時間もありました。お母さんの大変さを感じることができました。



「思いやりの心をもって行動すること」「一人一人の体や心の成長、考え方が違うということ」が大切です！

【校舎内には】

